

● 授業計画

1年次

日程			限目 時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第1 第3	火曜	4限	法医学特論	法医学とは「法律上問題となるあらゆる医学的事項に対して医学の知識を応用し、その解決に寄与するための医学」である。したがって損傷論などの犯罪医学的な側面だけでなく、小児・高齢者の虐待、乱用薬物問題、高齢者の孤独死、過労死、労働災害などの賠償医学、大規模災害における個人識別、医療関連死、臓器移植や終末期医療などの医療倫理問題など、現代社会が抱える様々な医学的問題を理解し、その解決のために必要な知識を習得することを目標とする。	佐藤 梅原	カンファレンス ルーム
6月 9月 12月 3月	第3	金曜	4限	法医認定医養成講座	法医認定医とは日本法医学会が認定する資格で、申請者の条件として1)医師免許取得 2)死体解剖保存法による死体解剖資格の取得 3)法医学会会員歴3年以上 4)法医学教室などに4年以上在籍し、200体以上の死体検案ないし法医解剖(いずれも補助を含む)の経験を有する。そのうち法医解剖60体以上。 5)法医学に関する5回以上の学会報告および5編以上の論文(原著、総説、症例、技術報告)又は著書があることの5項目が挙げられている。したがって上記の4)、5)に主眼を置き、大学院期間中に2)～5)を得て、最終的に法医認定医を習得することを目標とする。	佐藤	カンファレンス ルーム

2年次

日程			限目 時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第1 第3	火曜	4限	法医学特論	法医学とは「法律上問題となるあらゆる医学的事項に対して医学の知識を応用し、その解決に寄与するための医学」である。したがって損傷論などの犯罪医学的な側面だけでなく、小児・高齢者の虐待、乱用薬物問題、高齢者の孤独死、過労死、労働災害などの賠償医学、大規模災害における個人識別、医療関連死、臓器移植や終末期医療などの医療倫理問題など、現代社会が抱える様々な医学的問題を理解し、その解決のために必要な知識を習得することを目標とする。	佐藤 梅原	カンファレンス ルーム
毎月	第2	火曜 木曜	16:00 ～ 17:30	法医学演習	法医鑑定では、様々な医学的検査法や分析法を駆使し、得られた結果を医学的根拠と照らし合わせて結論にいたる。法医学演習では、最新の検査技術や分析法を用いて、開講時期に依頼された新たな法医鑑定事項について、科目責任者とともに検査・分析を実施・演習し、実際の法医鑑定の知識や技術を習得することを目標とする。	佐藤 梅原	カンファレンス ルーム
毎月	第1 第2 第3	水曜	4限	法医学実習	法医学演習の項で取り扱った項目のなかからテーマを選び、最新の医学的検査法や分析法を用いて解決の糸口につながる実験を行い、結論を得る。	佐藤 梅原	カンファレンス ルーム
6月 9月 12月 3月	第3	金曜	4限	法医認定医養成講座	法医認定医とは日本法医学会が認定する資格で、申請者の条件として1)医師免許取得 2)死体解剖保存法による死体解剖資格の取得 3)法医学会会員歴3年以上 4)法医学教室などに4年以上在籍し、200体以上の死体検案ないし法医解剖(いずれも補助を含む)の経験を有する。そのうち法医解剖60体以上。 5)法医学に関する5回以上の学会報告および5編以上の論文(原著、総説、症例、技術報告)又は著書があることの5項目が挙げられている。したがって上記の4)、5)に主眼を置き、大学院期間中に2)～5)を得て、最終的に法医認定医を習得することを目標とする。	佐藤	カンファレンス ルーム

3年次

日程			限目 時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第2	火曜 木曜	16:00 ～ 17:30	法医学演習	法医鑑定では、様々な医学的検査法や分析法を駆使し、得られた結果を医学的根拠と照らし合わせて結論にいたる。法医学演習では、最新の検査技術や分析法を用いて、開講時期に依頼された新たな法医鑑定事項について、科目責任者とともに検査・分析を実施・演習し、実際の法医鑑定の知識や技術を習得することを目標とする。	佐藤 梅原	カンファレンス ルーム
毎月	第1 第2 第3	水曜	4限	法医学実習	法医学演習の項で取り扱った項目のなかからテーマを選び、最新の医学的検査法や分析法を用いて解決の糸口につながる実験を行い、結論を得る。	佐藤 梅原	カンファレンス ルーム
毎月	第2 第4	金曜	4限	法医学論文指導	様々な医学的検査法や分析法を用いて得られた法医学に関する研究結果を解析して考察し、論文としてまとめ、得られた知見について説明し、この分野の発展に寄与する。	佐藤 梅原	カンファレンス ルーム
6月 9月 12月 3月	第3	金曜	4限	法医認定医養成講座	法医認定医とは日本法医学会が認定する資格で、申請者の条件として1)医師免許取得 2)死体解剖保存法による死体解剖資格の取得 3)法医学会会員歴3年以上 4)法医学教室などに4年以上在籍し、200体以上の死体検案ないし法医解剖(いずれも補助を含む)の経験を有する。そのうち法医解剖60体以上。 5)法医学に関する5回以上の学会報告および5編以上の論文(原著、総説、症例、技術報告)又は著書があることの5項目が挙げられている。したがって上記の4)、5)に主眼を置き、大学院期間中に2)～5)を得て、最終的に法医認定医を習得することを目標とする。	佐藤	カンファレンス ルーム

4年次

日程			限目 時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第1 第2 第3	水曜	4限	法医学実習	法医学演習の項で取り扱った項目のなかからテーマを選び、最新の医学的検査法や分析法を用いて解決の糸口につながる実験を行い、結論を得る。	佐藤 梅原	カンファレンス ルーム
毎月	第2 第4	金曜	4限	法医学論文指導	様々な医学的検査法や分析法を用いて得られた法医学に関する研究結果を解析して考察し、論文としてまとめ、得られた知見について説明し、この分野の発展に寄与する。	佐藤 梅原	カンファレンス ルーム
6月 9月 12月	第3	金曜	4限	法医認定医養成講座	法医認定医とは日本法医学会が認定する資格で、申請者の条件として1)医師免許取得 2)死体解剖保存法による死体解剖資格の取得 3)法医学会会員歴3年以上 4)法医学教室などに4年以上在籍し、200体以上の死体検案ないし法医解剖(いずれも補助を含む)の経験を有する。そのうち法医解剖60体以上。 5)法医学に関する5回以上の学会報告および5編以上の論文(原著、総説、症例、技術報告)又は著書があることの5項目が挙げられている。したがって上記の4)、5)に主眼を置きつつ、大学院期間中に2)～5)を得て、最終的に法医認定医を習得することを目標とする。	佐藤	カンファレンス ルーム